

障がい者・認知症高齢者と犯罪

～犯罪を繰り返させないために 司法と福祉の連携～

犯罪をしたと疑われている人や犯罪をした人の中には、障がいを持っている方や認知症の方も少なくありません。適切な福祉支援を受ければ、犯罪をしなかったであろう人もいます。適切な福祉支援がないために自分の言い分を弁護士にうまく伝えられない人もいます。

司法と福祉が連携しなければならない「時」が来ています。

これからの司法と福祉の連携について、みんなで考えていきましょう。

司法
×
福祉

参加
無料



2019年3月16日(土) 基調講演・パネルディスカッション・グループワーク

午後1時30分～4時30分 (午後1時受付開始)

会場：新潟ユニソンプラザ 4階 大研修室

〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2

終了後、場所を移して懇親会あり。会費4,000円程度

問い合わせ先：新潟県弁護士会 TEL：025-222-5533



中澤 泰二郎氏

中澤泰二郎法律事務所

パネリストから、建前ではなく、ここでしか聞けない、ホンネの話を引き出します。ごうご期待!

パネリスト



精神保健福祉士

大屋 未輝氏

合同会社おやお精神保健福祉士
オフィス代表

もし、隣の方が刑務所の出所者だと知ったら、どのような印象をもたれますか。法の下、犯罪(者)を拘束(排除)することだけで、安心して安全な社会が創れるのでしょうか。多くの方と意見交換できますこと期待しております。



弁護士

小出 薫氏

柏崎きぼう法律事務所

「トラブルシューター・ネットワーク」の活動として、知的障がいや発達障がいのある方のトラブルや、被害・加害に関する支援に取り組んでいます。刑事事件の中では、障がいのある人が、その特性を理解されなかったり、誤解されたりしたまま、十分な主張や防御をできずにいることがあります。そんな時こそ、様々な専門性を生かした”連携”の出番だと考えています。



社会福祉士

本多 崇人氏

新潟県地域生活定着支援センター

罪を犯してしまった高齢者や障がいのある方を支援するためには司法と福祉の連携が必要です。

今回の機会を通して、この分野の現状の把握や司法と福祉の視点・役割を相互に理解し、連携を深めていきたいです。



社会福祉士

池田 あさみ氏

いけだ社会福祉事務所

今、福祉は多職種連携!!!

参加申込書 (申込期限：3月13日)

新潟県弁護士会行き FAX：025-223-2269

フリガナ				所属先	
氏名				Email	
TEL		FAX		懇親会	参加する・参加しない